

事業計画

平成 29 年度

社会福祉法人原町成年寮

平成 29 年度 社会福祉法人原町成年寮 事業計画

1 はじめに

社会福祉法人改革の初年度となり、理事会・評議員会の在り方が変わる。法的な整合性を意識し、的確な対応を行う。今後は中長期の運営計画が問われる。法人は平成 30 年度から始まる第 7 次プロジェクトを策定し、その答えとするとともに時代のニーズに合わせていく。

葛飾通勤寮の開設移転が実施された。葛飾区内での新たな地域生活援助が開始される。地域の安心安全を共有しつつ、事業展開を図る。

高齢化、重度化の課題は待つことを許されない。目の前の課題を解決しつつ、第 7 次プロジェクトとの整合性を検討する。

2 原町成年寮基本理念

①就労・自立生活に向けた支援

原町成年寮は、一人ひとりの自立した社会生活を実現するため、多様な就労・日中活動支援を行っています。利用者の皆様が、社会の一員としての役割と責任を担い、活躍し成長して頂けるよう、日々支援しています。

②豊かな人生をおくることへの支援

原町成年寮は、健康で安心・安全な生活を保障し、利用者の皆様が望む生活の実現をサポートしています。一人ひとりの個性を尊重し、日々の生活で豊かさを感じて頂けるよう支援しています。

③地域社会への貢献をめざす支援

原町成年寮は、地域との交流や情報交換を行い、利用者の皆様が地域社旗の一員として貢献できるよう支援しています。

3 法人計画 (別紙)

4 事業所計画 (別紙)

5 主要人事 (別紙)

6 法人運営及び年間日程 (別紙)

平成 29 年度 社会福祉法人原町成年寮 事業計画骨子 Vol. 5

法人

- 1 葛飾通勤寮移転および新通所事業所クラフトの安定運営
- 2 給与制度改革の速やかな移行（常勤・非常勤・パート）と諸規則改定
- 3 給与制度に伴う評価制度と人材育成および研修制度の検討
- 4 第 7 次プロジェクト（平成 30 年～平成 32 年度）の策定
- 5 原町成年寮家族連絡会の確立
- 6 法人年間日程の策定
- 7 高齢化・重度化対策および地域生活拠点整備事業の検討（通勤寮跡地等）
- 8 社会福祉法人改革への的確な対応
- 9 災害時における事業継続計画（BCP）の策定

事業所

- 1 葛飾通勤寮+奏かつしか
 - ・通勤寮機能を関係機関にアピールし、利用希望者が継続するよう努める
 - ・就労移行支援事業フォレスト及び併設の就労継続支援 Craft と連携し、利用者が精神的自立を伴った企業就労を目指せるような取り組みを図る
 - ・新たに開設した通勤寮連携型グループホームの支援内容を検討し、円滑な移行を図れるよう努める
 - ・利用者が楽しく訓練施設での生活が送れるよう、地域に向けた行事を検討する
 - ・職員個別育成計画により、定期的な漫談を実施し人材育成を図る
- 2 原町成年寮かつしかセンター
 - ・利用者支援の充実
 - ・GH翼の廃止と宿直業務の負担軽減
- 3 サザンクロスかつしか
 - ・高齢化対策
 - ・個別支援の充実～自ら課題を見つけ解決できるチーム作り～
- 4 奥戸福祉館
 - ・生活介護事業所は軽作業を全て廃止し選択掃除グループとウェス、リサイクルグループの 2 つにわけて活動
 - ・施設外就労にチャレンジ
 - ・製パン事業は南葛 SC とのコラボレーションと給食パンの強化、業務の効率化見直しロス率減少と PDCA サイクル実行

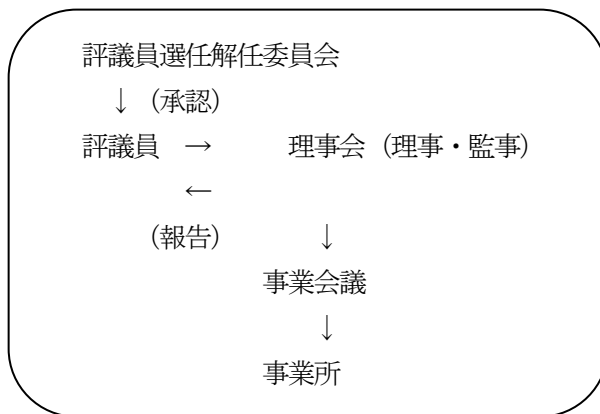
- ・新規事業として（株）ビオクラ食養本社のOEMクッキー生産を行い、利用者の平均工賃3万円を目標
 - ・職員、利用者の意識改革教育に職場環境整備支援事業を活用
- 5 アンジュ
- ・日中活動を充実させ、やりがい、楽しみ、生きがいにつながる活動の提供
 - ・祝日に通所日を設け余暇活動の充実を図る
 - ・従たる事業所モモズレシピの有効活用
- 6 シャイン
- ・生活介護定員をプラス10名に増加
 - ・従たる事業所つむぎの運営方法検討
- 7 フォレスト
- ・土曜日開所
毎週土曜日を開所日とし、これまで行っていなかったパソコン訓練を希望者に対して実施
 - ・クラフトとの連携
クラフトと連携することで、B型施設から就職を目指すことができる仕組みづくりを行っていく
 - ・説明会の開催
クラフトと共同で特別支援学校保護者への説明会を定期的に行い、原町成年寮の就労支援を地域に広める
 - ・目標就職者数
20名
- 8 クラフト
- ・利用者支援の内容の充実と向上を図る
 - ・サービス提供支援員の質向上に努める
 - ・生産活動に伴う工賃額向上に努める
 - ・一般企業就労支援の充実を図る
 - ・喫茶事業や施設祭等を通して地域活動への積極的参加に努める
 - ・併設する葛飾通勤寮と連携し「自立と地域生活を」を目標に必要な支援を行う
- 9 糸でんわ
- ・特定事業所の指定
 - ・福祉士等法人実習窓口
 - ・法人施設見学窓口
 - ・利用希望受付調整担当
- 10 ドロップ

- ・ GH利用者の余暇支援を充実させる
- ・ 在宅利用者及び高齢利用者のニーズに合わせた支援を拡充する
- ・ ヘルパーの質の向上

11 本部

- ・ 社会福祉法人改革への的確な対応
- ・ 人材育成の一環として北海道伊達市研修実施（6月・10月）

12 社会福祉法人原町成年寮組織



- ・ 社会福祉法人改革に伴う定款変更に基づく法人組織
- ・ 本部事務局を毎月2回 事業会議を毎月2回実施（予定表参照）